

(参考) 財務指標の考え方について

財務指標項目 (計算式等)		説明
安全性・健全性	<b>自己資本比率 [%]</b> 【公益法人の場合】 =正味財産 / 総資産 × 100 【会社法・特別法法人の場合】 =自己資本 / 総資本 × 100	法人の総資産 (総資本) に占める自前の資本である正味財産 (純資産) の割合を示しています。正味財産 (純資産) は自己資本といい、金融機関からの借入により調達した資金 (他人資本) とは異なり、返済の義務がありません。したがって、自己資本比率が高いほど、法人の財務基盤の安定性・健全性が高いと判断することができます。 <b>【ポイント】</b> 自己資本には返済の義務がありませんので、指標が高いほど、安定性が高い状態といえます。
	<b>流動比率 [%]</b> =流動資産合計 / 流動負債合計 × 100	1年以内に償還が必要な負債 (流動負債) を、同じく1年以内に現金化することができる資産 (流動資産) でどれだけ賄えるかを示しており、法人の短期的な支払能力と安全性を判断することができます。 <b>【ポイント】</b> 一般に100%以上であれば、1年以内に支払い不能になる可能性が低いと理解されます。逆に、100%を下回ると望ましくない状態であるとされます。ただし、流動資産の中に遊休資産が多い場合であっても指標が高くなる場合がありますので、この点は留意が必要です。
	<b>有利子負債依存度 [%]</b> 【公益法人の場合】 =有利子負債 / 総資産 × 100 【会社法・特別法法人の場合】 =有利子負債 / 総資本 × 100	法人が保有している資産 (資本) のうち、どのくらいの資金を外部からの有利子負債によって賄っているかを判断することができます。 <b>【ポイント】</b> 指標が高い場合、資金繰りに苦慮しているほか、金利負担も大きくなることから、資金調達面でのリスクが高い状況と判断されます。したがって、一般に低い方が好ましいといえます。
効率性	<b>管理費比率 [%]</b> 【公益法人の場合】 =管理費 / 経常費用 × 100	経常費用全体に占める管理費の割合を示しており、法人の経営の効率性を判断することができます。 <b>【ポイント】</b> 指標の値が低いほど事業活動における効率が良いといえます。
	<b>売上高対販売・管理費比率 [%]</b> 【会社法・特別法法人の場合】 = (販売費 + 管理費) / 売上高 × 100	売上高に対する費用 (販売費 + 管理費) の割合を示しており、法人の生産性の経費効率を判断することができます。 <b>【ポイント】</b> 指標が低いほど販売コストや経費の効率が良いといえます。
	<b>人件費比率 [%]</b> 【公益法人の場合】 =人件費 / 経常費用 × 100 【会社法・特別法法人の場合】 =人件費 / (販売費 + 管理費) × 100	経常費用 (販売費 + 管理費) に占める人件費の割合を示しています。人件費は、直ちには削減することができないことから、法人の財務の硬直度高いを判断することができます。 <b>【ポイント】</b> 指標が高いほど財務が硬直化の傾向にあるといえます。したがって、指標が低いほうが好ましいと言えますが、従業員・職員のモチベーション (適正な給与水準) の維持も必要である点にも留意が必要です。

財務指標項目（計算式等）		説 明
自立性	<p><b>独立採算度〔%〕</b>            =（経常収益＋経常外収益－補助金収入〔運営費補助〕）／（経常費用＋経常外費用）×100            ※ 公益法人及び特別法法人のみ記載のこと。</p>	<p>県等からの運営費補助を差し引いた法人の収益合計と、費用合計の比を示しており、法人の独立採算度を判断することができます。</p> <p>【ポイント】 指標が100%以上の場合、独立採算が取れているといえます。</p>
収益性	<p><b>総資本経常利益率〔%〕</b>            【公益法人の場合】            = 当期経常増減額／正味財産期末残高×100            【会社法・特別法法人の場合】            = 経常利益／総資本×100</p>	<p>法人の経常的な活動による業績を判断する指標であり、総資産（総資本）を使って経営活動を行った結果、どれだけの経常利益を上げたかを示しています。</p> <p>【ポイント】 投下した資産（資本）に対する収益性を分析する指標であり、数値が高いほど効率が良い（収益性が高い）といえます。</p>
	<p><b>総資本回転率〔回〕</b>            = 売上高／総資本            ※ 会社法法人のみ記載のこと。</p>	<p>1事業年度において、法人の売上高が、総資本に対してどれぐらいあったのかの比率を示しています。総資本の運用効率、活動能率、回転状態を示しています。</p> <p>【ポイント】 指標が高いほど総資本が効率的に活用されていると判断できます。</p>